

【タイトル】

マプト市内でひったくり事件が発生しましたので御注意下さい。

【本文】

モザンビーク在留邦人の皆様及び旅行者の方へ
在モザンビーク日本国大使館

去る２２日（土）夕方にマプト市で邦人のひったくり被害が発生しました。
例年、年末に向けて、強盗、置き引き、空き巣などの犯罪が増加する傾向がありますので、
以下の点などを参考に自己防衛に努めて下さい。

- ・貴重品の携行は最小限にし、身体から離さないようにする。
- ・外出の際は単独行動を避け、なるべく複数で行動する。
- ・徒歩での移動はなるべく避け、やむを得ない場合は人通りの多い大通りを使う。
- ・車両の乗り降りは周囲に不審者がいないか確認の上、可及的速やかに行う。
- ・運転中は必ずドアロックし、窓は完全に閉める。降車の際も右操作が確実になされているか確認する
- ・万が一強盗に遭遇した場合、ある程度の金銭的被害は命には替えられないとあきらめ抵抗しない。また身の安全を考え、無理に犯人を追いかけてたりしない。

記

事件概要

被害者は、２２日（土）午後７時半頃、同僚と共にレストラン「Piri Piri Chicken」で食事を済ませ、宿泊先ホテルに戻るため Francisco Orlando Magumbe 通りを徒歩で移動していた。店を出て間もなくピーナッツ売りの少年がつきまとい、しつこく購入を迫ってきたが、相手にせず歩いていたところ、レストラン「Pekai's Thai」に差し掛かったところで、少年が突然被害者の胸ポケットに手を入れスマートフォンを奪った。被害者は少年を追いかけようと走り出したところ転倒してしまい、腕の骨折などの怪我を負った。少年はそのまま逃走した。